

要 望 書

この度、私たちが練習を行っております蔵本弓道場の一部改築をお願いしたく、本要望書を提出いたします。理由は以下の通りです。

現在の弓道場は今から 25 年以上前に建築された古いものですが、これまでに床の葺き替など何度か改修をしていただき、おかげで練習も十分こなすことができ、西医体等で優勝するなどよい成績をあげて参りました。ただ、そのような成績の向上と比例するように部員数が年々増加してきたために、弓道場の相対的な狭隘化が進み、満足のいく練習を行うことが困難になってきました。これまで練習の曜日や時間等をやりくりしてなんとかやってきましたが、今年は特に新入部員が多かったため、総部員数が約 60 人となり、弓道場からあふれてしまうようになりました。昨年までは隣接する空き地を使って射形の練習やわら打ちなどの練習をすることもできたのですが、そこに建物ができたために、それも不可能となりました。このような状況のため練習にも支障をきたし、今年の西医体でもよい成績をあげることができませんでした。

これまで私たちも整理整頓など、弓道場の有効活用に努めて参りましたが、「狭い」という物理的な限界は如何ともし難く、部員が多すぎて部活動ができないという皮肉な状況です。さらに人が多いために矢を射る部員のすぐ近くで多くの部員が控えていなくてはならず、重大な事故につながる危険性もあります。中の用具を収めるスペースの拡張だけでもできれば多少の改善につながるのではないかと思います。現在の弓道部にはその経費をまかなう力がありません。

以上のような状況に鑑み、誠に恐縮なのですが、安心して練習に打ち込めるよう、早急に蔵本弓道場の改築をして頂きたく、要望書を提出する次第です。何卒、よろしくお願ひ致します。

2012 年 10 月 11 日

徳島大学蔵本弓道部 主将
医学部医学科 3 年 浅井翔太

助言指導教員 石村和敬